



高齢者の方とご家族の身近な相談窓口として地域包括支援センターがあります。

高齢者の方が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続するためには介護サービスをはじめ、さまざまなサービスが高齢者のニーズや状態の変化に応じて、切れ目なく提供される必要があります。こうした高齢者の生活を支える役割を果たす総合相談窓口が地域包括支援センターです。

▼ 牛久市では2カ所の地域包括支援センターを設置しています ▼

● 牛久市地域包括支援センター (社会福祉法人牛久市社会福祉協議会)

☎878-5050 〒300-1292 牛久市中央3-15-1市役所分庁舎内

【担当地区】 牛久小学校区、岡田小学校区、牛久第二小学校区、
中根小学校区、向台小学校区、ひたち野うしく小学校区

● 牛久市地域包括支援センター ^{はくじえん} 博慈園 (社会福祉法人 博慈会)

☎871-5110 〒300-1214 牛久市女化町253-2

【担当地区】 神谷小学校区、おくの義務教育学校区

※担当地区の地域包括支援センターにご相談ください。

※社会福祉士・保健師・介護支援専門員(ケアマネジャー)など専門職種がチームとなって連携して対応しています。

【両センター受付時間】 月～土曜日午前8時30分～午後5時30分(祝日・年末年始除く)

高齢者の皆さんの介護予防を中心に、日々の暮らしを介護や健康に関する相談、権利擁護、自立した生活ができるよう地域との連携・協力体制を支える等の面からサポートします。

アライグマから農作物を守ろう!



問 農業政策課 ☎内線1513

市では、現在、アライグマによる農作物への被害が拡大傾向にあります。

アライグマの特徴やすぐに取り組める対策についてご紹介しますので、被害防止対策にお役立てください。

特徴・生態



- ◆4月下旬から出産期 ◆尾は長く、黒の縞模様
- ◆雑食性(動物も植物も食べる) ◆手先が器用
- ◆甘みのある農作物を好む(果実、トウモロコシ、スナック菓子など)

すぐに取り組める対策

アライグマが好きな環境を作り出さないために…

- ◆廃棄作物や生ごみ、ペットの餌などを放置しない
- ◆農地周辺の藪は刈り払う
- ◆収穫しない果樹などは伐る
- ◆小屋や廃屋への入り口はふさぐ



気性が荒く、寄生虫や感染症を持っている可能性があるので
むやみに近づいたり触ったりしないようにしましょう

万が一、アライグマと接触し怪我をおったり体調が悪くなった場合は速やかに医療機関を受診してください!